

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日
RI承認 昭和32年4月15日
会長 信太秀紀
副会長 宮内龍雄
幹事 田中英子
会計 金子芳則

2014~2015年度 RIテーマ
ロータリーに輝きを
LIGHT UP ROTARY

2014~2015 RI会長 ゲイリー C. K. ホアン

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30~
例会場 銚子商工会館5F大会議室
事務所 銚子市三軒町19-4
銚子商工会館内
電話 0479-25-3111(会館)
0479-23-0750(専用)
ファクス 0479-25-8789
E-mail rotary@choshinet.or.jp
URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

第2822号 (2014年9月17日発行)

今週のプログラム

「健康的な人生をどう造るか」
クワタ種苗(株) 桑田 輝雄様

前回例会報告 (9月10日)

点 鐘：信太秀紀会長
ロータリーソング：「我等の生業」

ビジター紹介：澤田
武男様 (銚子東 RC)



会長挨拶



飯塚訓さんの書かれた「墜落遺体」という著書には、1985年8月12日日航機墜落事故の内容が克明に描かれております。突然、自分

に死ぬ瞬間が訪れるという状況は想像を絶するものです。この事故現場では、震える手で最後の言葉を綴った、たくさんの紙切れが発見されています。驚いたことに、その内容はみな同じで、たった3つの言葉、に大別されたそうです。「ありがとう」「ごめんね」「愛してる(好きだ)」です。

これらは人間として一番大切な言葉なのに、私たちは、普段忘れてしまっています。例えば、自分が一分後死ぬことになったとしたら、「お金を儲けておけばよかった。」「もう少し大きい家に住みたかった。」という人はいないのです。誰に何を伝えるべきだったか、ただそれだけに集中します。本当の勇気とは、バンジージャンプを跳ぶことではないし、ジェットコースターに乗ることもありません。「本当に好きな人に好きと言うこと。」なのです。考えてみると、これほど難しいことはありません。では、なぜそれを今まで言えなかったのでしょうか？それは、時間は無限にあると思っているからです。だから、だらだら仕事をしてしまう、人間関係もいい加減にしてしまうのです。もし、松下幸之助さんが、筋骨隆々で健康だったとしたら、パナソニックはできなかつたと言われていいます。体が弱く、死と隣り合わせの人生だったからこそ、常に自分の命を意識し、人に心から感謝し、「ありがとう、ごめんね、愛してる(好きだ)」を最優先させたからこそ世界のリーダー



第2790地区
ガバナー 宇佐見 透 (千葉幕張RC)

広報・会報委員会
宮内 清次、石毛 充、越川 信一、兒玉 英子

イングカンパニーを作れたのです。
 先の事を考えすぎると、取り越し苦労をしたり、
 誇大妄想に陥ったりして、必ず人生を損じます。
 大切なことは一つだけです。「明日の朝もしも
 目が覚めなくても、後悔しないと思える今日一
 日」を送ればいいのです。

幹事報告

【週報拝受】佐原香取 RC

【活動計画書拝受】銚子東 RC、旭 RC

1. 「新世代」と「青少年」について
 …RI 日本事務局
2. 地区大会記念ゴルフ大会組み合わせ表の件
3. 奉仕プロジェクト委員会
 News letter 第 2 号(8-9 月号)
 …以上、ガバナー事務所
4. ローター希望の風奨学金への支援御礼状
 …ロータリー東日本大震災青少年支援連絡
 協議会
5. 「大帝国の大いなる遺産」著書拝受
 …鈴木司郎様
6. 第 62 回銚子市小中学校児童生徒・教職員科
 学作品展の御礼
 …銚子市小中学校文化振興協会

会員の記念日

☆ 誕生日記念日：田中英子会員（9月8日）



40 歳代最後の誕生日をお祝い
 いただき有難うございます。
 記念品の「シャチハタ」は幹事と



いうお立場から非常に使う
 機会が多ございます。大事に
 したく思います。
 ←信太会長から記念品を頂

く田中英子幹事

☆ 結婚記念日：なし

☆ 入会記念日：灰谷 充史会員（9月4日）
 ：鴨志田明人会員（9月5日）
 ：青野 秀樹会員（9月6日）

☆ 創業記念日：なし

ニコニコ BOX

大岩 将道会員



9月6日～8日銚子駅前の
 ボンマルセにて東日本大
 震災の被災者のために「忘
 れない東北展」を開催いた
 しました。古い着物をリサ
 イクルした「ねがい桜」バ
 ック等の販売と作家瀬戸
 内寂聴仏画とダウン症の
 書家金澤翔子さんの作品展をおこないました。
 又、不要になった着物 8 段ボールと 38 名の方
 にご賛同をいただき被災地にお送りしました。
 ご協力ありがとうございました。

卓話

【サウスダバオ RC 来銚記念映像と
 今後のフィリピン支援について】

支援の趣旨（目的） 高橋宏資会員 理事



一昨年、大里年度
 でミンダナオ島ダ
 バオ市の盲学校の
 支援のための準備
 をし、宮内榮年度で
 楽器の支援を行っ
 ました。そして、本

年度、信太年度でその楽器を使って盲学生のチ
 ャリティーコンサートを9月20日（土）にダ
 バオ市内で開催する運びとなりました。

昨年と比べると楽器が増強されたせいもあり、また子供たちの日頃の努力もあり、演奏が一段と進歩しております。その成果をダバオの皆さんに披露したいと思っています。盲学校の存在をアピールすることにより、盲学生が市民権を得る有効な手段となると思っています。

障害者も一般人と同じような教育が受けられる第1歩となってほしいと思うと同時に、そういう学校作りのお手伝いになればと思っています。

今回は、ダバオ市の教育・行政関係者、日本領事、各ロータリークラブに声をかけての開催となりますので有意義なイベントになると思います。また、サウスダバオ RC との友情がさらに深まることを期待して出かけてまいります。

宮内秀章職業奉仕委員長



私がこのフィピンダバオへの支援に初めて参加したのは、丁度銚子ロータリークラブに入会して間もなく、高橋会員、大里会員に

フィリピンに行かないかと誘われて何も分からずついて行ったのが初めてでした。

最初は地区のWC Sの活動として参加したわけですが、今思い出すと靴の履いていない子供達や窓のない家、またマニラでは白バイに先導されて市街を走りぬけたりと、驚くことばかりでした。この時は、イーストダバオロータリークラブやダバオ2000ロータリークラブの案内をいただいて海洋村というところへ行ってきました。ここでは東クラブさんが作ったトイレや地元ロータリークラブが作ったという学校の教室を視察してきた訳ですが、今、考えれば建物を建てたり設備等を与えるだけという支援は中々先が見えず、一時的な支援になってしまうと感じております。

さて、今回の支援場所は同じダバオ市内にある盲学校で、サウスダバオロータリークラブの協力のもと昨年から今年へと継続事業で行っています。

きっかけは、サウスダバオロータリーのメンバーから今の経済環境が原因で盲学校への支援が受けられなくなり、学校の運営が非常に厳しい状況なので、是非、視察に来て欲しいということからでした。我々も初めて訪問した時、子供達を見て、衝撃を受け、そしてあることを考えさせられました。それは、この子供達にとって、将来夢を持てるか、持てないかではこれから先、色んな意味で人生が変わってきてしまうということです。そこで高橋会員から、「今までのような物を与えるだけの支援では何も変わらない、将来を考えての支援に取り組もう」という意見が出ました。

今回の支援には目標があります。盲学校の生徒達に目の見えないリスクを乗り越え、自立出来るように、また将来に夢を持てるように、そして自分たちの手で幸せを掴んで頂きたいということです。

去年は皆様のご協力を頂きまして沢山の楽器を寄贈いたしました。そして、今年いよいよその楽器を使ってチャリティーコンサートを行うわけでありまして。その手助けを少しでも

我々が出来たということをご大変嬉しく思っております。

最後に今回は、あるきっかけの中から、サウスダバオロータリークラブと共にダバオ盲学校への支援を実施することになりましたが、これからフィリピンと限らず他の国でも、また日本国内でも他クラブとの交流の中でお互いが助け合える活動に結びつけていけたら素晴らしいのではないかと考えております。

高木浩一国際奉仕委員長



本年度の国際奉仕委員会メイン事業であります、フィリピン・ダバオ盲学校の子供たちによる、チャリティーコンサートが近づいてまいりま

した。盲学校への国やNGOの支援が少なくなるなか、この子供たちに何かできないかと、いろいろ考えた結果、昨年、楽器の寄贈を行い、子供たちの自立支援の観点から、本年度9月20日にチャリティーコンサートの開催に至りました。コンサート開催に先立ち、8月12日から8月15日まで、サウス・ダバオ・ロータリークラブの例会に合わせて、ミーティングを行ってまいりました。滞在中は、素晴らしいおもてなしで、クラブ間のコミュニケーションも取れ有意義な時間を過ごさせて頂きました。今回のコンサートは、500人収容の映画館にて行い、ダバオ市の関係者はじめ、現地ロータリークラブ、教育省関係者、在フィリピン日本大使館在ダバオ出張駐在事務所長の方々などを招待する予定です。今回は、信太秀紀会長をはじめ、宮内龍雄会員、高橋宏資会員、金島弘会員、宮内秀章会員、植田正義会員、石毛充会員、佐藤直子会員、田中英子会員、櫻井公恵会員、そして、私、高木の11名で、行ってまいります。銚子クラブ44名の気持ちを胸にコンサートを成功させ、笑顔で帰国できると確信しております。頑張ってきます。

ダバオの様子を1-2枚紹介します。





会 員 投 稿 欄

職業奉仕の参考に

猿田正城会員（パスト会長）



勝俣宣夫さんが商社丸紅に入社して、最初に配属された部署は、紙パルプの販売でした。子会社から発注された商品を仕入れ、卸すという単純で張り合いの感じられない

仕事でした。ある日、丸紅本社で直接に紙を販売する事を提案し許可されました。早々カナダから紙を輸入しましたが、思うように売れません。そこでカラー印刷用の紙に目を付けましたところ、これがよく売れました。オイルショックで紙不足になり、いくら値上げしても売れる状況になりました。しかし勝俣さんは値上げをせず、お客様を優先しました。この様な時ほどお客様のために役立つことが大切だと、。これが信頼を得て商社の存在価値は高まるのだと、。

やがて勝俣さんは、丸紅の社長になり現在は相談役として活躍されております。

猿田神社 宮司

◆ 猿田神社ではロータリー憩いの森と猿田神社元宮大鳥居との間におよそ30台収容出来る



駐車場を増設しました。どうぞ御利用下さい。
広報・会報委員会

委員会報告及びお知らせ

例会場及び例会時間変更と観月会及び交換留学生歓迎会について

クラブ幹事 田中英子

親睦活動委員会委員長 灰谷充史

表記について下記のとおり変更してご案内致します。

記

平成 26 年 月 24 日（水）

例会場：太陽の里 時間；午後 6 時開会

：恒例の観月会を下記の通り開催致します。今回は交換留学生 DAVEY 君の歓迎会を合わせ行います。

日時：平成 26 年 9 月 24 日午後 6 時 30 分～

会場：太陽の里

送迎バス：5 時 30 分市役所を出発します。

【出席報告】

会員総数 44 名 出席計算 43 名

出席：36 名 欠席 7 名 出席率 83.72%

欠席：青野君・栢尾君・越川君・丸山君

松本君・宮崎君・坂本君

【M U】

9/7：アクターズミーティング 丸山君・島田君

【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥ 8,000	計 ¥137,000
----------	---------	------------

スモールコイン	¥ -	計 ¥ 15,710
---------	-----	------------

米山 BOX	¥ 3,500	計 ¥ 15,870
--------	---------	------------

希望の風	¥ 35,000	計 ¥ 88,000
------	----------	------------

広島市土砂災害義捐金

9/3 募金¥28,000

9/10 募金¥23,600

合計¥51,600円地区へ送金いたしました。

皆さんご協力本当に有難うございました。

社会奉仕委員長 松本恭一

次週のプログラム（9月24日）

夜間移動例会 「観月会」

会場：太陽の里

例会：点鐘 18:00

送迎バスは 17:30 に市役所出発します